

2023年度

歯科衛生科 シラバス
(講義内容)

行岡医学技術専門学校
歯科衛生科

歯科衛生科

教科課程			総合		1学年		2学年		3学年		1単位
分野	教育内容	学科名	単位	時間	単位	時間	単位	時間	単位	時間	時間数
基礎	科学的思考の基礎	生物学	1	30	1	30					30
		化学	1	30	1	30					30
		情報処理	1	30	1	30					30
		倫理学	1	15	1	15					15
		心理学(コミュニケーション論)	1	30	1	30					30
	人間と社会生活の理解 (合計10単位)	文学(文章表現法)	1	15	1	15					15
		運動生理	1	15	1	15					15
		歯科英語	1	30			1	30			30
		英会話	1	15	1	15					15
		安全管理	1	15			1	15			15
小計			10	225	8	180	2	45			
専門基礎	人体の構造と機能 (4単位)	解剖学Ⅰ	2	60	2	60					30
		解剖学Ⅱ	1	15	1	15					15
		生理学	1	30	1	30					30
		口腔解剖学	2	60	2	60					30
	歯・口腔の構造と機能 (5単位)	口腔生理学	2	30			2	30			15
		口腔生理学	1	30	1	30					30
		生化学・口腔生化学	1	30	1	30					30
		病理学	1	30	1	30					30
	疾病の成り立ちと回復 の促進(6単位)	口腔病理学	1	30			1	30			30
		微生物学	1	30	1	30					30
		口腔微生物学	1	30			1	30			30
		薬理学	1	30	1	30					30
		口腔薬理学	1	30			1	30			30
		口腔衛生学	2	60	2	60					30
	歯・口腔の健康と予防に 関わる人間と社会の仕 組み(7単位)	歯科統計学	1	30					1	30	30
		衛生学・公衆衛生学	1	30	1	30					30
		衛生行政・社会福祉学	2	30					2	30	15
		社会保険制度	1	30					1	30	30
小計			22	585	13	375	5	120	4	90	
専門	歯科衛生士概論(2単位)	歯科衛生士概論Ⅰ	1	15	1	15					15
		歯科衛生士概論Ⅱ	1	15					1	15	15
	臨床歯科医学 (8単位)	保存修復・歯内療法Ⅰ	1	30	1	30					30
		保存修復・歯内療法Ⅱ	1	15			1	15			15
		歯周療法学	1	30	1	30					30
		歯科補綴学	1	30	1	30					30
		口腔外科学	1	30	1	30					30
		小児歯科学	1	30			1	30			30
		歯科矯正学	1	30	1	30					30
		高齢者歯科学	1	15			1	15			15
		障害者歯科学	1	15			1	15			15
		有病者歯科学	1	15			1	15			15
	歯科予防処置論 (8単位)	口腔予防処置法	2	60	2	60					30
		予防的歯石除去法Ⅰ	2	60	2	60					30
		予防的歯石除去法Ⅱ	3	90			3	90			30
		予防的歯石除去法Ⅲ	1	30					1	30	30
	歯科保健指導 (7単位)	歯科保健指導Ⅰ	1	30	1	30					30
		歯科保健指導Ⅱ	2	60			2	60			30
		歯科保健指導Ⅲ	1	15					1	15	15
		口腔保健管理Ⅰ	1	30					1	30	30
		口腔保健管理Ⅱ	1	15					1	15	15
	歯科診療補助論 (8単位)	栄養指導	1	30					1	30	30
		歯科診療補助Ⅰ	2	60	2	60					30
		歯科診療補助Ⅱ	1	45			1	45			45
		歯科診療補助Ⅲ	1	30					1	30	30
		介護技術	1	30			1	30			30
		歯科材料科学	1	15					1	15	15
		臨床検査法	1	30	1	30					30
		歯科放射線学	1	30			1	30			30
	臨床・臨床実習 (20単位)	看護・救急養生法	1	15					1	15	15
		臨床・臨床実習Ⅰ	1		1	45					45
		臨床・臨床実習Ⅱ	7	900			7	315			45
		臨床・臨床実習Ⅲ	12						12	540	45
小計			56	1845	15	450	21	690	20	705	
選択必修	(7単位)	歯周基本治療学	2	30					2	30	15
		隣接医学	1	15			1	15			15
		摂食嚥下療法	1	15			1	15			15
		リハビリテーション学	1	15			1	15			15
		東洋医療	1	15					1	15	15
		接骨・面接技法論	1	15					1	15	15
		総合演習	1	15							15
		小計			8	120			4	60	4
合計			96	2775	36	1005	32	915	28	855	

基 礎 分 野

科学的思考の基礎

人間と社会生活の理解

(合計 10 単位)

2023年度

科目名	生物学
担当教員	岩崎 裕介
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	歯科衛生士は生命科学の知識を必要とする。したがって、生物学では明らかにされた生命現象の基礎と最新の情報を面白く学ぶことを目的としている。
授業計画	① 生命とは何か。生命の誕生と変遷, DVd(1) 腎臓が寿命を決める
	② 細胞の構造と機能、DVD(2)驚きのパワー！ 脂肪と筋肉が命を守る
	③ 細胞の一生と個体の成立、DVD(3)骨が出す最高の若返り物質
	④ 生殖と発生、DVD（6）「生命誕生 見えた！母と子のミクロの会話」
	⑤ 遺伝子とタンパク質合成
	⑥ 刺激の受容と反応、恒常性
	⑦ 地球環境 生命の共生、DVD（5）脳すごいぞ！ひらめきと記憶の正体
	⑧ 単位試験
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	期末試験とレポートおよび出席状況などで総合評価する。
教科書	最新歯科衛生士教本 生物学 医歯薬出版株式会社
参考書等	1. 理系総合のための生命科学 2. NHKスペシャル人体の神秘 巨大ネットワークDVD（1～7）
履修上の注意	教科書と配布資料を持参すること

科目名	化学
担当教員	篠原 光子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年次・講義
授業科目概要	歯科臨床で用いられる物質の科学的背景について理解する
授業計画	① 化学概論、原子、分子、周期表
	② 気体 液体
	③ 酸とアルカリ
	④ 酸と還元
	⑤ 有機化合物
	⑥ 糖質、アミノ酸、脂質
	⑦ 医薬品
	⑧ 終了試験
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	講義終了後、試験実施
教科書	全国歯科衛生士教育協議会 監修：最新 歯科衛生士教本 化学、医歯薬出版
参考書等	疾病の成り立ち及び回復過程の促進「薬理学」学建書院
履修上の注意	復習をする

科目名	情報処理	
担当教員	内宮 慶之	
単位（時間数）	1単位（21時間）	
履修対象・形態	1年生	
授業科目概要	パソコンを使用した医療事務に役立つスキルの習得を目的とする。 Microsoft Word/Excel/PowerPointの具体的な操作方法を習得し、基礎的な知識と操作方法を習得する。 また各自プレゼンテーション資料を作成し、PowerPointを使用したプレゼンテーションも実施する。	
授業計画	①	コンピューター概論
	②	Wordの概要及び基本的な文書の作成
	③	ビジネス文書の作成 表の作成
	④	図形とイラストの挿入等
	⑤	Excelの概要及び集計表の作成
	⑥	関数を使った表計算
	⑦	データとグラフの作成
	⑧	データベースの活用等
	⑨	PowerPointの概要及び基本的な操作方法
	⑩	プレゼンテーションスライドの作成と様々な編集方法
	⑪	プレゼンテーションスライドの作成
	⑫	プレゼンテーション（発表）
	⑬	課題作成とまとめ
	⑭	総合演習と試験予習
	⑮	試験
成績評価	課題の提出及び試験	
教科書	『30時間アカデミック Office2019』実教出版	
参考書等	授業時間内に適宜支持する	
履修上の注意	PC初心者にも対応する授業となるため、個々人の作業時間の差を考慮し、私語等が無いよう十分注意すること。なお、4 Gバイト以上のUSBメモリを持参すること。	

2023年度

科目名	倫理学
担当教員	吉田 真一郎
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	倫理学（歯科医療倫理）は言葉の意味を理解するだけでなく、対人間、患者さんに実践できることが大切である。コミュニケーションの基礎を学び、実践できるようにしていくことを目標とする。今後歯科衛生士になるにあたり、必要な基礎知識の習得ならびに、医療人としての考え方について双方向の講義を目指し、グループワークやカウンセリング実習をとおして、コミュニケーションスキルの習得も目指す。
授業計画	① なぜ倫理学を学ぶのか ② インフォームドコンセント、コミュニケーション ③ 口腔がんの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ④ 親しらずの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ⑤ 歯科衛生士のやりがい ⑥ コミュニケーションの大切さ ⑦ 守秘義務について ⑧ 国試対策 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	課題、単位試験より評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新 歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	率直、前向き、勉強好きの3点を意識し、学ぶ事を楽しもうとすること

2023年度

科目名	倫理学
担当教員	吉田 真一郎
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	倫理学（歯科医療倫理）は言葉の意味を理解するだけでなく、対人間、患者さんに実践できることが大切である。コミュニケーションの基礎を学び、実践できるようにしていくことを目標とする。今後歯科衛生士になるにあたり、必要な基礎知識の習得ならびに、医療人としての考え方について双方向の講義を目指し、グループワークやカウンセリング実習をとおして、コミュニケーションスキルの習得も目指す。
授業計画	① なぜ倫理学を学ぶのか ② インフォームドコンセント、コミュニケーション ③ 口腔がんの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ④ 親しらずの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ⑤ 歯科衛生士のやりがい ⑥ コミュニケーションの大切さ ⑦ 守秘義務について ⑧ 国試対策 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	課題、単位試験より評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新 歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	率直、前向き、勉強好きの3点を意識し、学ぶ事を楽しもうとすること

2023年度

科目名	心理学
担当教員	岩下美穂
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年次 講義
授業科目概要	医療の対象となる「人」について理解を深めることは、医療においても重要となる。この授業では、発達や人とのかかわり方についての心理学的知見を身につけること、人間及び人間を取り巻く環境について心理学的な見方、とらえ方ができるようになること、自分自身についての理解を深め、医療の現場においていかに人とかかわっていくかについて、自分の個性・特性をふまえた上で考えられるようになることを目指す。
授業計画	① オリエンテーション ― 心理学とは ② 認知過程 ― 知覚と記憶 ③ 自己理解のために ― 「私マップ」づくり ④ コミュニケーション ― コミュニケーションのプロセスと援助的かかわり ⑤ 聴くスキル ― 聴くことの機能 ⑥ 聴くスキル ― 聴くスキルの実際 ⑦ 自己理解のために ― EPPSを用いて ⑧ 主張するスキル ― 上手に伝えるために ⑨ 発達 ― 発達とそれを支える環境 ⑩ 発達 ― 自我の発達漸成理論とピアジェの発達段階説 ⑪ 発達 ― 各発達段階ごとの特徴 胎児期・乳児期 ⑫ 発達 ― 各発達段階ごとの特徴 幼児期・児童期 ⑬ 発達 ― 各発達段階ごとの特徴 青年期・成人期・高齢期 ⑭ 神経発達症の理解と援助 ⑮ まとめ
成績評価	筆記試験により評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修 『心理学』 医歯薬出版株式会社
参考書等	鈴木 伸一 編著 『対人援助と心のケアに生かす心理学』 有斐閣
履修上の注意	心理学を学ぶということは、自分のこと、周りの人のことについて考えることだと思います。自分にひきつけながら、そして歯科衛生士として現場に出た時のことをイメージしながら、積極的に考え、学んでください。

2023年度

科目名	文学（文章表現法）
担当教員	大谷 昇治
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生 講義・演習
授業科目概要	文章の内容を正しく読み取り、自分の考えをわかりやすく表現することは、社会人として必要不可欠である。この授業では、自分の考えを正しい表現方法で伝えることを第一の目的とし、文章構成、論文作成技法など実践を通して日本語表現の能力の向上を目指す
授業計画	① アカデミックワードと日常語
	② 句読点、見やすい表記
	③ わかりやすい文章の書き方
	④ わかりやすい語順
	⑤ 小論文の書き方
	⑥ 小論文作成のポイント
	⑦ 報告書、レポートの作成方法
	⑧ 小論文作成・提出
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	毎回の課題提出 小論文
教科書	なし
参考書等	随時プリントを配布
履修上の注意	毎回の提出課題は成績評価に反映しますので、必ず提出してください。

科目名	運動生理
担当教員	山野宏章
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・ 講義・演習
授業科目概要	運動を行うには様々な器官の働きが必要である。本講義では、筋、代謝、循環、呼吸、脳の生理機能について理解し、運動を行うことによる変化を学習する。
授業計画	① 運動生理学総論
	② 筋骨格系と運動
	③ 呼吸機能と運動
	④ 循環機能と運動
	⑤ 代謝機能と運動①生活習慣病
	⑥ 代謝機能と運動②ダイエット
	⑦ 内分泌機能と運動
	⑧ 脳機能と運動
成績評価	筆記試験と演習の取り組みにより総合評価する
教科書	なし（プリント配布予定）
参考書等	特になし
履修上の注意	講義に関して、十分な予習と復習をすること。演習は動きやすい服装で参加すること。

2023年度

科目名	歯科英語
担当教員	大谷 恭史
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年次・前期 講義
授業科目概要	近年増加傾向にある外国人患者に対して、受付での対応や必要最低限の治療説明などができるよう、基本的な歯科英語を習得する。
授業計画	① Making an Appointment by Telepone 発音、訳、会話練習
	② Requests for Medicine 発音、訳、会話練習
	③ Emergency Appointments 発音、訳、会話練習
	④ National Health Insurance 発音、訳、会話練習
	⑤ Asking the Patient to Describe Symptoms 発音、訳、会話練習
	⑥ Asking the Medical History 発音、訳、会話練習
	⑦ Periodontal Disease 発音、訳、会話練習
	⑧ Pregnancy 発音、訳、会話練習
	⑨ Why do I need a Cleaning 発音、訳、会話練習
	⑩ Informed Consent 発音、訳、会話練習
	⑪ Sealants 発音、訳、会話練習
	⑫ Fluoride Treatment 発音、訳、会話練習
	⑬ Tooth Brushing Instructions for a Child 発音、訳、会話練習
	⑭ Tooth Brushing Instructions for an Adult 発音、訳、会話練習
	⑮ Postoperative Instructions to the Patient 発音、訳、会話練習
成績評価	単位試験により評価
教科書	歯科英語 医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	英会話
担当教員	Celina NAYE (ZHOU QIAN)
単位 (時間数)	1単位 (15時間)
履修対象・形態	1年生 前期 講義
授業科目概要	外国の患者様との意思疎通を図るための英語を学んでほしい。相手の主訴を正しく聞き取れ、発音良く礼儀よく伝えられるコミュニケーション力を目指す。テキストの例文を使い、会話の中で単語習得、文法説明を導入していく。また、歌詞を理解した上で覚えながら、楽しく英語を勉強することを望む。
授業計画	① 英語で自己紹介、アメリカの歯科事情
	② 電話対応 (予約・初診アンケート等)、英語の歌
	③ 患者の主訴を聞き取る、レントゲン検査
	④ 刷掃指導、復習
	⑤ 終講テスト
	⑥
	⑦
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	終講テスト、受講時の活躍度
教科書	講師が作成したもの
参考書等	歯科衛生士、歯科医師のための実用英会話 (医歯薬出版)
履修上の注意	実際、外国の歯科事情を紹介しながら、楽しく進めていくこと

科目名	安全管理
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	1単位（15時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 講義
授業科目概要	医療安全とは患者中心の質の高い、安全な医療を提供するために医療安全の必要性・重要性を課題として認識し、安全な医療が遂行出来る体制・環境を整えるために必要な知識・技術の習得を目指します。
授業計画	① 安全管理と感染管理について
	② 医療法と歯科衛生士について
	③ ヒューマンエラー、インシデントレポートについて
	④ 感染防止策の実際について（PPE装着）、歯科における医療事故とその対策について
成績評価	単位試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する。
教科書	歯科衛生士のための歯科医療安全管理 医歯薬出版株式会社
参考書等	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編）医歯薬出版株式会社
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみをしっかりし、教科書等忘れ物をしないこと。

専 門 基 礎 分 野

人体の構造と機能

(4 単位)

科目名	解剖学 I
担当教員	諏訪文彦
単位（時間数）	2 単位（60時間）
履修対象・形態	1 年生・前・後期 講義
授業科目概要	解剖学は人体の構造を学ぶ学問である。また歯科医学の最も基礎となる学問でもある。解剖学には、マクロレベルで学ぶ「肉眼解剖学」と、ミクロレベルで学ぶ「顕微解剖学=組織学」とがある。さらに、生命の始まりから成人の体になる過程を知る「発生学」についても学ぶ。
授業計画	① 解剖学総論
	② 骨格系
	③ 筋系
	④ 消化器系
	⑤ 呼吸器系
	⑥ 泌尿生殖器系
	⑦ 内分泌系
	⑧ 脈管系
	⑨ 神経系
	⑩ 感覚器系
	⑪ 人体の発生
成績評価	単位テスト（筆記試験）、出席状況
教科書	学生のための 解剖・組織・発生学：諏訪 文彦ほか著、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	解剖学は歯科医学の全ての学問の基礎となるので、早く知識を身につけることが求められる。

科目名	解剖学Ⅱ
担当教員	諏訪 文彦
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	1 年生 講義・実習（社会状況により中止の場合あり）
授業科目概要	解剖学で学んだ知識を実習を通して知識の確認をする。
授業計画	① 組織学実習（顕微鏡実習）
	② 骨学実習
成績評価	出席状況、実習レポート（スケッチ）
教科書	学生のための 解剖・組織・発生学：諏訪 文彦ほか著、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	実物をみてスケッチブックに形を描き、解剖学で得た知識を確認する

2023年度

科目名	生理学
担当教員	上田 純
単位（時間数）	1 単位（30 時間）
履修対象・形態	1 年次 前期 講義
授業科目概要	歯科を受診する患者は、様々な病態をもっている。これは口腔内だけに限らない。患者の病態を理解する上で必要なヒトの生理的機能を中心に講義していきたい
授業計画	① 生理学とは 細胞の構造と機能
	② 体液（血液）
	③ 体液（体液の組成、酸塩基平衡）
	④ 体液の循環
	⑤ 呼吸
	⑥ 消化と吸収
	⑦ 尿の生成と排出
	⑧ 代謝と体温
	⑨ 内分泌系
	⑩ 生殖
	⑪ 筋
	⑫ 神経（神経細胞、抹消神経系）
	⑬ 神経（中枢神経系）
	⑭ 感覚
	⑮ まとめ、期末試験
成績評価	筆記試験（100点）にて60点以上の成績を修めること
教科書	歯科衛生士テキスト 生理学 （覚道幸男他、学建書院）
参考書等	
履修上の注意	講義において発生した疑問点は、講師に質問するなり、自習で解決するなり対処しておくこと

専 門 基 礎 分 野

歯・口腔の構造と機能

(5 単位)

科目名	口腔解剖学
担当教員	諏訪 文彦、中道 哲
単位（時間数）	2 単位（60時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	口腔解剖学は、歯ならびに歯周組織を学ぶ学問で、歯科医学の最も基礎となる学問であり、歯科医学の最も直結する学問である。マクロレベルで学習する口腔解剖学と、ミクロレベルで学習する口腔組織学とがある。口腔は独立して存在するのではなく、全身の一部であり、歯と歯周組織も同様に全身と深く関わっている。口腔解剖学においては、歯と歯周組織について、「からだ」の一部としてその構造を学ぶ。
授業計画	① 口腔解剖学 総論
	② 歯の用語
	③ 永久歯（前歯）
	④ 永久歯（臼歯）
	⑤ 乳歯（乳前歯）
	⑥ 乳歯（乳臼歯）
	⑦ 歯の配列と咬合
	⑧ 異常歯
	⑨ 歯の発生・萌出
	⑩ 歯周組織 口腔組織（エナメル質）
	⑪ 口腔組織（象牙質 歯髄）
	⑫ 口腔組織（セメント質 歯根膜）
	⑬ 口腔組織（歯槽骨 歯肉）
	⑭ 口腔組織（歯肉）
	⑮ まとめ
成績評価	出席状況、小テスト、単位試験にて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	解剖学は歯科医学の全ての学問の基礎となるので早く知識を身につけることが求められる。

科目名	口腔生理学
担当教員	岩崎 精彦
単位（時間数）	2 単位（30時間）
履修対象・形態	2 年生・前期 講義
授業科目概要	口腔生理学は生理学の一分科である。おもに歯、咬合、咀嚼、嚥下、嘔吐、味覚、口腔感覚、唾液分泌および発声などを取り扱っている。口腔各器官の機能と各器官の相互関係から口腔機能の特徴を知り、口腔各器官の生理的メカニズムを理解させること。
授業計画	① 歯および歯周組織の生理
	② 咬合および顎運動
	③ 咀嚼および吸啜
	④ 嚥下および嘔吐
	⑤ 唾液腺および唾液
	⑥ 口腔感覚
	⑦ 発生および発音
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	覚道幸男、吉田羊、西川泰央、杉村忠敬、内橋健二著：歯科衛生士テキスト 生理学、学建書院
参考書等	ビジュアル口腔生理学、学建書院
履修上の注意	講義の内容について毎回復習をおこたらない様にする

科目名	生化学・口腔生化学
担当教員	涌本 昇
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	栄養素でもあり、体の構成成分、体の機能を調整する糖質、脂質、タンパク質、ビタミン、無機質の五大栄養素について学ぶ。又酵素、ホルモンについても学ぶ。 歯を中心とする口腔組織の構成成分、歯の石灰化、唾液の化学組成と機能、歯垢（デンタルプラーク）を中心とする歯の堆積物について詳しく学ぶ
授業計画	① 糖質（定義、分類、単糖、二糖、多糖、糖質代謝） ② 糖質（定義、分類、単糖、二糖、多糖、糖質代謝） ③ 糖質（複合多糖） ④ 脂質（単純脂質、複合脂質、誘導脂質） ⑤ タンパク質（アミノ酸） ⑥ タンパク質（ペプチド、タンパク質） ⑦ 核酸（DNA, RNA、ヌクレオチド） ⑧ 酵素 ⑨ ビタミン（水溶性ビタミン、脂溶性ビタミン） ⑩ 無機質（Ca, P, Na, K, Mg, I, Fe, Cu, Zn） ⑪ 中間試験 ⑫ ホルモン ⑬ 消化、病態生化学 ⑭ 口腔生化学 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験にて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 栄養と代謝、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	講義の内容と教科書の内容を毎回照らし合わせるなど、復習をおこたらないようにする

専 門 基 礎 分 野

疾病の成り立ちと回復の促進

(6単位)

科目名	病理学
担当教員	畑 慎太郎
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	病気の本態、すなわち病気の原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療ならびに予防に関する知識を学ぶ
授業計画	① 病因論
	② 病因論
	③ 代謝障害
	④ 代謝障害
	⑤ 進行性病変
	⑥ 循環障害
	⑦ 循環障害
	⑧ 炎症
	⑨ 炎症
	⑩ 免疫
	⑪ アレルギー
	⑫ 腫瘍
	⑬ 腫瘍
	⑭ 腫瘍
	⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	渕端 猛ほか監修：イラストでわかる歯科医学の基礎、永末書店
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	口腔病理学
担当教員	畑 慎太郎
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	病気の本態、すなわち病気の原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療ならびに予防に関する知識を学ぶ
授業計画	① 歯の異常
	② 歯の異常
	③ 歯の付着物
	④ 歯の付着物
	⑤ う蝕
	⑥ う蝕
	⑦ う蝕、歯髄疾患
	⑧ 根尖性歯周炎
	⑨ 根尖性歯周炎
	⑩ 歯周疾患
	⑪ 粘膜の病変
	⑫ 顎骨の病変、のう胞
	⑬ のう胞
	⑭ 口腔領域の腫瘍
	⑮ 口腔領域の腫瘍
成績評価	単位試験
教科書	渕端 猛ほか監修：イラストでわかる歯科医学の基礎、永末書店
参考書等	
履修上の注意	

科目名	微生物学
担当教員	高田春比古
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・ 講義
授業科目概要	歯科領域の2大疾患であるう蝕（虫歯）と歯周病は共に細菌感染症である。感染は病原微生物と宿主の生体防御機構とのバランスによって、成立の有無・経過が違ってくる。本科目では、細菌・ウイルスを始めとする多様な病原微生物と宿主の生体防御機構の中核をなす免疫機構について、基本的な知識を修得して、感染症に対処する正しい姿勢を身につける。
授業計画	① 微生物学、特に細菌学の歴史 ② 微生物の世界 ③ 細菌学総論：細菌の構造と生理 ④ 細菌学総論：病原因子 ⑤ 小テスト（微生物学総論）と解説 ⑥ 細菌学各論：主要なグラム陽性・陰性細菌とその感染症 ⑦ 特殊な細菌：マイコプラズマ、スピロヘータ、リケッチャ、クラミジア ⑧ ウイルスとその感染症 ⑨ 真菌と原虫 ⑩ 小テスト（微生物学各論）と解説 ⑪ 生体防御機構と免疫のしくみ ⑫ 液性免疫と細胞性免疫 ⑬ アレルギー ⑭ 小テスト（免疫学）と総復習（質問の時間） ⑮ 単位試験
成績評価	原則として、単位試験の成績に基づいて評価するが、適宜小テストの成績を考慮する
教科書	歯科衛生士学シリーズ、疾病の成り立ち及び回復過程の促進 2 微生物学 全国 歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版株式会社）
参考書等	適宜、プリントを配布する
履修上の注意	授業の範囲は膨大であるので、日頃の学習が必須である。少なくとも小テストの際にはテスト範囲の復習をして充分準備して臨むこと。積み重ねがあれば、単位試験は問題なくクリアできる。

2023年度

科目名	口腔微生物学
担当教員	高田春比古
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・ 講義
授業科目概要	歯科領域の2大疾患であるう蝕（むし歯）と歯周病に関わる口腔細菌を中心に、様々な口腔感染症に関わる微生物について専門的知識を習得する。さらに歯科臨床に必要な化学療法、滅菌・消毒法についても専門的知識を習得する。これらの学習を通して、歯科衛生士として、感染症に対する正しい姿勢を身につける。
授業計画	① 口腔細菌叢とデンタルプラーク（バイオフィルム） ② デンタルプラーク（バイオフィルム） ③ う蝕と細菌（1） ④ う蝕と細菌（2） ⑤ 歯周病と細菌（1） ⑥ 歯周病と細菌（2） ⑦ その他の口腔感染症 ⑧ 小テスト（口腔微生物と感染症）と解説 ⑨ 化学療法（1） ⑩ 化学療法（2） ⑪ 滅菌と消毒（1） ⑫ 滅菌と消毒（2） ⑬ 細菌の培養と観察の方法 ⑭ 小テスト（化学療法、細菌・消毒等）と解説 ⑮ 単位試験
成績評価	原則として、単位試験の成績に基づいて評価するが、適宜小テストの成績を考慮する
教科書	歯科衛生士学シリーズ、疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学 全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版株式会社）
参考書等	適宜、プリントを配布する
履修上の注意	授業の範囲は膨大であるので、日頃の学習が必須である。少なくとも小テストの際にはテスト範囲の復習をして充分準備して臨むこと。積み重ねがあれば、単位試験は問題なくクリアできる。

科目名	薬理学
担当教員	篠原 光子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生 講義
授業科目概要	薬物の基本的知識を理解して薬物と生体と疾患の三者のかかわり合いを念頭にいれ、歯科臨床において薬物を有効にかつ安全に使用できる能力を養う
授業計画	① I 編総論 歯科臨床における薬理学・歯科薬理学の意義 2 薬物療法と医療における薬物 ② 3 薬理作用 4 薬物の作用機序 ③ 5 薬物の適用方法と体内動態 6 薬物の作用を規定する因子 ④ 7 薬物の副作用、有害作用、相互作用 II 一般薬理学 2 中枢神経に作用する薬物 ⑤ 1. 末梢神経系に作用する薬物 4 緊急対応時に用いる薬物 ⑥ 3 呼吸器系・循環器系に作用する薬物 ⑦ 5. 消化器系に作用する薬物 6. 代謝系に作用する薬物 ⑧ 終了試験
成績評価	講義終了後 試験実施
教科書	歯科衛生士テキスト 最新薬理学 学建書院
参考書等	疾病の成り立ちと回復の促進 「薬理学」医歯薬出版、今日の治療薬 2023 南江堂
履修上の注意	代表的薬物名は覚える

科目名	口腔薬理学
担当教員	篠原 光子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・ 講義
授業科目概要	薬物について基本的事項を理解し薬物と生体のかかわり合いを念頭に入れ、 歯科臨床において薬物を有効にかつ安全に使用できる能力を養う
授業計画	① 3. 痛みに用いる薬物
	② 4. 炎症に用いる薬物
	③ 1. 局所麻酔に用いる薬物 2. 止血・抗凝血に用いる薬物
	④ 5. 感染症に用いる薬物
	⑤ 6. 悪性腫瘍に用いる薬物 7. 免疫調節に用いる薬物
	⑥ 8. 腐食薬および収れん薬 11. 口腔粘膜疾患に用いる薬物
	⑦ 9. 歯肉療法に用いる薬物 10. 歯周病に用いる薬物 12. う蝕予防に用い る薬物
	⑧ 終了試験
成績評価	講義終了後 試験実施
教科書	歯科衛生士テキスト 最新薬理学 学建書院
参考書等	疾病の成り立ちと回復の促進 「薬理学」 医歯薬出版、今日の治療薬 2023 南 江堂
履修上の注意	代表的薬物名は覚える

専 門 基 礎 分 野

歯・口腔の健康と予防に関わる人間と

社会の仕組み

(7単位)

科目名	口腔衛生学
担当教員	高島 怜子
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	1年生 後期 講義
授業科目概要	口腔衛生学では、歯・口腔を健康に保つための原理を探り身につけることはもちろん大切である。 口腔衛生学では、1、歯・口腔の正常な状態と機能の理解を十分もつ 2、歯・口腔に起こる健康障害について十分な知識をもつ 3、健康障害の発生の阻止や予防、健康増進の具体的な手段、方法をも身につける
授業計画	① 健康の概念 ② 予防医学の概念・口腔衛生学の概念 ③ 歯科疾患の疫学 ④ 歯・口腔の健康 ⑤ 口腔の不潔 ⑥ 口腔清掃 ⑦ う蝕の予防 ⑧ フッ化物によるう蝕予防 ⑨ 歯周疾患の予防 ⑩ その他の疾患の予防 ⑪ 地域歯科保健指導 ⑫ ライフステージごとの口腔保健管理 ⑬ 地域保健・公衆衛生 ⑭ 母子保健・学校保健 ⑮ 成人保健・産業保健・老人保健
成績評価	定期試験（筆記：論述）、100点満点、60点以上で合格
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健生態学、医歯薬出版
参考書等	口腔保健のためのフッ化物応用ガイドブック（財）口腔保健協会
履修上の注意	全ての講義に出席すること

2023年度

科目名	歯科統計学
担当教員	梶田 康宏（統計）、鈴木 亜紀（歯科統計）
単位（時間数）	1 単位 （30時間）
履修対象・形態	3 年生 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士の必要な統計処理のための基礎を学ぶ。齲蝕に関する統計処理、歯周疾患に対する統計処理、口腔の汚染に関する統計処理を学ぶ。
授業計画	① 度数分布表、ヒストグラム ② 代表値・散分図 ③ 保健情報と保健統計 ④ 共分散・相関係数 ⑤ 区間検定 ⑥ 検定 ⑦ 保健情報と疫学 ⑧ 統計学まとめ ⑨ 統計問題演習 ⑩ 歯科疾患の指標 ⑪ 口腔清掃・その他の歯科疾患の指標 ⑫ 国試過去問題演習 ⑬ 歯科保健情報統計のまとめ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験（統計学40% 歯科統計学60%）授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本 「保健情報統計学」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本 「齲蝕予防処置法」 医歯薬出版
履修上の注意	統計学は90分しか休めません。歯科統計学は180分しか休めません。

科目名	衛生学・公衆衛生学
担当教員	高山 由希
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・ 講義
授業科目概要	衛生・公衆衛生学では健康に影響を及ぼす環境について学び、健康の保持増進、集団対象の保健施策を理解する基礎知識をつける。また、歯科衛生士にとって重要な学問である口腔衛生学や保健指導を学ぶための基礎となる学問である。
授業計画	① 衛生学 総論・予防医学・国際保健
	② 疫学・人口
	③ 人口
	④ 環境衛生
	⑤ 感染症
	⑥ 食中毒・国民栄養
	⑦ 地域保健(まとめ)
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
成績評価	単位試験結果に平常点を加算して評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科衛生士教本 保健生態学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	それぞれの分野で配布資料を講義後に配布します

2023年度

科目名	衛生行政・社会福祉学
担当教員	薬師寺 健太郎
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	3年生・前期 講義
授業科目概要	わが国の歯科医療従事者ならびに医療機関とその団体は国民の健康及び生活の衛生の維持・向上という社会の需要に沿った行動が求められている。それぞれの職種とその役割、医療の在り方並びに公衆衛生活動に関わる法制度並びに各種保健・社会福祉制度について講義を通じて理解を深めるとともに、社会に貢献する歯科衛生士のあり方やその活動の意義について考察を行う。
授業計画	① 概論1：衛生行政の目的と沿革 ② 衛生関係法1：法と行政にかんする基本的な考え方。 ③ 衛生関係法2：保健医療従事者各職種及びその業務に関する法律について。 ④ 衛生関係法3：医療制度に関する法律について。 ⑤ 衛生関係法4：衛生行政の運営に関する法律について。 ⑥ 保健医療の動向について1：わが国の人口静態および動態の実態について ⑦ 保健医療の動向について2：わが国の健康の現状について ⑧ 概論2：わが国の社会保障制度と衛生行政の仕組み（組織とその運営） ⑨ 社会保険制度について1：健康保険制度とその運用について ⑩ 社会保険制度について2：介護保険制度とその運用について。 ⑪ 社会保険制度について3：年金保険制度とその運用について。 ⑫ 社会福祉制度について1：生活保護制度について。 ⑬ 社会福祉制度について2：児童と家庭の福祉制度、障害者の福祉制度について。 ⑭ 社会福祉の動向について1：わが国の福祉行政の現状について ⑮
成績評価	単位認定試験（筆記）にて行う。
教科書	末高 武彦著：歯科衛生士のための 衛生行政・社会福祉・社会保険、医歯薬出版 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学 第2版、医歯薬出版
参考書等	随時 資料を配布する
履修上の注意	

科目名	社会保険制度
担当教員	梶田 康宏
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	3 年生・前・後期 講義
授業科目概要	現行の社会保険制度について実際の臨床症例を織り交ぜて解説する。
授業計画	① 歯科用語、略称について ② 歯の知識について ③ 歯科衛生業務について（検査など） ④ 社会保険制度について ⑤ レセプトと保険請求のしくみについて ⑥ カルテ1号用紙記入方法 ⑦ 学校検査について ⑧ 老人保健について ⑨ 介護保険について ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験にて評価
教科書	歯科保険請求マニュアル 令和2年度版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

専 門 分 野

歯科衛生士概論

(2 単位)

2023年度

科目名	歯科衛生士概論Ⅰ
担当教員	鈴木 亜紀
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	1 年生・講義
授業科目概要	歯科衛生を実践して人々の健康づくりを支援する者となるために、保健医療人としての基本的態度を理解し、多様な科目において知識・技術を習得する態度および論理的思考法の基礎を習得する
授業計画	① 歯科衛生士とは
	② 歯科衛生士の法的性格と業務内容 口腔の疾病・異常
	③ 歯科医療の三要素
	④ 業務記録の意義
	⑤ 保健・医療・福祉分野の専門職の業務
	⑥ 他職種との連携の意義
	⑦ 歯科衛生士の誕生と経緯
	⑧ 歯科衛生過程の構成要素
	⑨ 海外における歯科衛生士教育内容と日本の教育内容
成績評価	課題レポート、科目試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	歯科衛生士概論Ⅱ
担当教員	鈴木 亜紀
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生を実践して人々の健康づくりを支援する者となるために、保健医療人としての基礎技術を実施できるようになる
授業計画	① 問診・口腔内診査・口腔内診査
	② 歯周基本検査・歯垢染色・ブラッシング指導
	③ 歯面研磨
	④ 概形印象・石膏模型
	⑤ 演習
	⑥
	⑦
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	授業態度 実習内容、課題レポートにて評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 医歯薬出版
参考書等	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 医歯薬出版 全国歯科衛生士教育協議会監修：最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 医歯薬出版
履修上の注意	

専 門 分 野

臨床歯科医学

(10 単位)

2023年度

科目名	保存修復学・歯内療法学Ⅰ
担当教員	森川 裕仁
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	歯科臨床科目の基礎として位置付けられている、保存修復学・歯内療法学の講義を通じて、う蝕や歯の硬組織疾患などの原因や発生、病態を学ぶ。またそれらの疾患に対する診断法・治療法などを学ぶことで、歯科衛生士としての業務および診療補助に必要な知識・技術を習得し、広く応用できるよう理解を深めることを、到達目標とする。
授業計画	① 歯科保存学の概要・口腔検査
	② 硬組織疾患の分類と解説
	③ 歯髄保存療法
	④ 間接修復法（インレー）
	⑤ 直接修復（グラスアイオノマーセメント）
	⑥ 直接修復（コンポジットレジン）
	⑦ 間接修復（審美的インレー・ベニア）
	⑧ ホワイトニング
	⑨ 歯髄疾患・根尖性歯周組織疾患の解説
	⑩ 歯髄除去療法
	⑪ 根管治療（清掃・安全対策）
	⑫ 根管充填
	⑬ 外科的歯内療法
	⑭ 歯の外傷
	⑮
成績評価	単位試験にて判断する
教科書	最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）
参考書等	必要に応じて資料を用意・配布する
履修上の注意	

2023年度

科目名	保存修復学・歯内療法学Ⅱ
担当教員	森川 裕仁
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	2 年生・前期 講義・実習
授業科目概要	歯科臨床科目の基礎として位置付けられている、保存修復学・歯内療法学の使用器材と治療の内容、診療補助業務の流れなどを、実習を通じて学び習得し、広く応用できるよう理解を深めることを、到達目標とする。
授業計画	① セメント充填（覆髄・裏層）・歯面接着処理
	② 印象採得・仮封
	③ 隔壁法（マトリックスバンド・リテーナー）
	④ ラバーダム防湿
	⑤ 直接コンポジットレジン修復
	⑥ テンポラリークラウン調整
	⑦ テンポラリークラウン作成・仮着
	⑧ 根管治療（清掃）・根管充填
	⑨ 感染根管治療
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	授業内の小テストおよび単位試験にて判断する
教科書	最新歯科衛生士教本（歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法）
参考書等	必要に応じて資料を用意・配布する
履修上の注意	

科目名	歯周療法学
担当教員	竹本 誠司
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	歯周病の予防、治療について学ぶ。歯周病の分類や病態に関する知識を身につける。歯科衛生士として適切な治療選択をし、実行できるための基礎を学習する。
授業計画	① 正常な歯周組織について ② 歯周疾患の分類 ③ 歯周疾患の病因 ④ 歯周疾患の病態 ⑤ 歯周疾患の診査、診断 ⑥ 歯周基本治療 ⑦ 歯周外科処置 ⑧ メインテナンス, SPT, 歯科衛生士業務 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫
成績評価	試験成績
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 歯周病学、医歯薬出版
参考書等	歯周治療学 医歯薬出版 等
履修上の注意	基礎的内容の習得に努める

科目名	歯科補綴学
担当教員	油谷 征彦
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	歯科補綴学では、顎口腔機能の健常な状態および障害のある状態について学習し、その障害を回復・維持するための、歯科補綴装置について、診断、治療、術後管理等に関する基本事項を学習する。また、補綴治療を必要とする患者に対する歯科衛生士としての対応の仕方について学習する。
授業計画	① 歯科補綴概論
	② 歯科補綴の基礎
	③ 全部床義歯補綴
	④ 部分床義歯補綴
	⑤ クラウン・ブリッジ補綴
	⑥ インプラント補綴
	⑦ 患者指導
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	講義終了後、筆答により知を判定、評価を行う。
教科書	「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科補綴学」クインテッセンス出版
参考書等	「歯科衛生士のための補綴科アシスタントブック」 学建書院
履修上の注意	疑問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください。

科目名	口腔外科学
担当教員	妹尾 日登美
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義
授業科目概要	顎顔面領域の疾患について学習し、その診断、治療、手術器具、術後管理などに関する基本的事項および、歯科麻酔学についても学習する。その上で口腔外科治療における歯科衛生士の役割、対応の仕方についても学習する。
授業計画	① 口腔外科の概要
	② 基礎疾患について
	③ 口腔、顎顔面の異常
	④ 外傷 顎関節疾患
	⑤ 口腔粘膜疾患 血液疾患
	⑥ 炎症 舌腫脹と疾患
	⑦ 口腔腫瘍
	⑧ 唾液腺疾患 神経疾患
	⑨ 口腔外科診療の実際
	⑩ 口腔外科診療の業務
	⑪ 歯科麻酔
	⑫ 口腔外科 歯科麻酔の臨床における歯科衛生士の役割
	⑬ 口腔外科実習 心肺蘇生
	⑭ 口腔外科実習 外科器具
	⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	質問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください

2023年度

科目名	小児歯科学
担当教員	佐々木 秀和
単位（時間数）	1 単位（30 時間）
履修対象・形態	2 年生・前期 講義
授業科目概要	教科書の重要点（過去に国家試験に出題された箇所、出題されそうな箇所）をまとめたプリントも配布する。また、教科書の内容と実際の臨床症例をスライドで示し、視覚的に印象づけながら内容を解説する。
授業計画	① 毎回 1 から 3 章ずつ進む予定
	②
	③
	④
	⑤
	⑥
	⑦
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 小児歯科学 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

科目名	歯科矯正学
担当教員	高橋 啓
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1 年生・後期 講義
授業科目概要	歯科矯正学は不正咬合や咀嚼障害の原因・治療法およびその予防法を研究する歯学の一分科であり、歯科矯正学を理解することは、口腔機能の異常、その治療法や予防法を理解するために役立ち、歯科衛生士として歯科医療に携わる際に必要である。授業では歯科矯正学の概要を理解し、口腔機能に対する理解をとおり不正咬合を見分ける力を与え、歯科衛生士として歯科医療に携わる際に必要な歯科矯正学上の知識の習得をはかる。
授業計画	① 矯正歯科治療の概要 ② 成長・発育 ③ 正常咬合と不正咬合 ④ 矯正歯科診断 ⑤ 矯正歯科治療と“力” ー矯正力・顎整形力・保定ー ⑥ 矯正装置 ⑦ 矯正歯科治療の実際 ⑧ 矯正歯科臨床における歯科衛生士の役割 ⑨ 単位試験 ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	記述式の単位試験を行い、臨床の携わった必要な知識が備わっているかを評価する。
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生士学シリーズ 歯科矯正、医歯薬出版
参考書等	やさしくわかる 矯正歯科治療 歯並びコーディネーター入門 書 日本成人矯正歯科学会 編、医歯薬出版
履修上の注意	教科書の内容をもとに要点を整理し、国家試験の試験問題に対応できるように板書します。板書した内容を必ずノートに写し、まとめましょう。臨床例を提示しますので、矯正治療の概略、メリットとデメリットについて理解し、臨床の場で充分に対応できる知識を身につけましょう。

科目名	高齢者歯科学
担当教員	児玉 秀樹
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義
授業科目概要	高齢者は、身体機能および口腔機能が低下していることが多く、全身疾患を有し、身体状況に個人差が大きいなどの特徴があるため、それを踏まえた対応が必要である。他職種連携が広がっている中、歯科衛生士は口腔の専門家として、高齢者の口腔機能を維持・向上させて管理する役割をもっている。そのための方法を体系的に学び、臨床に応用するための基礎知識を修得することを目的とする。
授業計画	① 高齢者をとりまく社会と環境、加齢による身体的・精神的変化と疾患
	② 高齢者の状態の把握
	③ 口腔健康管理
	④ 摂食嚥下リハビリテーション
	⑤ 摂食嚥下リハビリテーション
	⑥ 高齢者に関わる医療と介護、高齢者歯科における歯科衛生士の実践
成績評価	教科書を読み、講師に対する質問等準備を行う。講義終了後、試験を行い、出席状況と授業態度を加味し成績を評価する
教科書	「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学 第1版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	疑問等があれば、早い時点で質問し、不明な点がないように心がけてください。

2023年度

科目名	障害者歯科学
担当教員	市川 愛希子
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生
授業科目概要	障害者歯科は乳幼児から高齢者まで幅広い年齢層に対して専門性が強く要求される領域とされている。身体的・精神的あるいは心理的に様々な疾患を持った患者に対する上で、歯科衛生士として理解しておかなければいけない特徴や歯科的対応について学習する。
授業計画	① 障害の概念
	② 歯科医療で特別な支援が必要な疾患①
	③ 歯科医療で特別な支援が必要な疾患②
	④ 障害者の歯科医療と行動調整
	⑤ 健康支援と口腔衛生管理
	⑥ リスク評価と安全管理
	⑦ 摂食・嚥下リハビリテーションにおける歯科衛生士の役割
	⑧ 地域における障害者歯科
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会「障害者歯科学」医歯薬出版株式会社
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	有病者歯科学
担当教員	丸野 友大
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義
授業科目概要	全身的な疾患を有する患者の医療の場や予後において、歯科治療に際し必要な知識に学ぶ。
授業計画	① 代謝・内分泌疾患
	② 消化器疾患
	③ 循環器疾患
	④ 血液疾患
	⑤ 呼吸器疾患
	⑥ 腎・泌尿器疾患
	⑦ 免疫疾患・膠原病
	⑧ 感染症
	⑨ 神経疾患
	⑩ 精神疾患
	⑪ がん
	⑫ 産科・婦人科疾患・妊婦
	⑬ 偶発症・救急医療
成績評価	単位試験
教科書	橋本健二・増本一真 編著：歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック（医歯薬出版）
参考書等	西田百代監修、梶山加網 著：知らないではすまされない、有病者高齢者歯科治療のガイドライン上・下
履修上の注意	

専 門 分 野

歯科予防処置論

(8 単位)

2023年度

科目名	予防的歯石除去法 I
担当教員	堀井 幸代
単位（時間数）	2単位 60時間
履修対象・形態	1年生 前・後期 講義・実習
授業科目概要	予防的歯石除去法の観点から情報収集をし、計画を立て実行できることを目指し、相互実習の中で、記録の取り方や手技を磨く。今まで学んだ事を復習し、総括授業を行い、総合的な理解を目標とする。
授業計画	① 概要、マネキンの取り扱い
	② 口腔の基礎知識
	③ 歯周疾患の基礎知識
	④ 口腔内の情報収集
	⑤ 口腔内診査実習、プロービング
	⑥ 実習室の使用法、実習事前オリエンテーション
	⑦ スケーリングの種類と操作法
	⑧ 模型でのスケーリング実習
	⑨ シャーピング講義・実習
	⑩ 歯面研磨講義、歯面清掃器講義
	⑪ 歯面研磨相互実習
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本 「歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「歯周疾患」
履修上の注意	基本全出席 補講はありません。各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないこと

2023年度

科目名	予防的歯石除去法Ⅱ
担当教員	堀井 幸代
単位（時間数）	3単位 90時間
履修対象・形態	2年生 前・後期 講義・実習
授業科目概要	スケーラーの種類と使用目的を説明でき、超音波スケーラー・エアースケーラーを操作できることを目標とする。歯周組織検査を実施し分析すること目標とする
授業計画	① 概要
	② 歯周組織検査分析
	③ エアースケーラー原理 講義・実習
	④ 超音波スケーラー原理 講義・実習
	⑤ キュレットスケーラー原理 講義・実習
	⑥ キュレットスケーラー原理 講義・実習
	⑦ キュレットスケーラーシャープニング
	⑧ メンテナンス
	⑨ 総括
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「歯周疾患」 最新歯科衛生士教本「口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版
履修上の注意	基本全出席。補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

2023年度

科目名	予防的歯石除去法Ⅲ
担当教員	堀井 幸代
単位（時間数）	1 単位 （30 時間）
履修対象・形態	3 年生 前・後期 講義・実習
授業科目概要	予防的歯石除去法の観点から情報収集をし、計画を立て実行できることを目指し、相互実習の中で、記録の取り方や手技を磨く。今まで学んだ事を復習し、総括授業を行い、総合的な理解を目標とする。
授業計画	① 歯面清掃器講義・演習 メンテナンスと S P T
	② 相互実習（診査・記録・スケリーリング・歯面研磨）
	③ 演習（練習問題）
	④
	⑤
	⑥
	⑦
	⑧
	⑨
	⑩
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	最新歯科衛生士教本「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」医歯薬出版
履修上の注意	基本全出席。補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

2023年度

科目名	齲蝕予防処置法
担当教員	鈴木亜紀
単位（時間数）	2単位 60時間
履修対象・形態	1年生 後期 講義・実習
授業科目概要	齲蝕の基礎知識（発生・経過）の講義を行い、齲蝕を予防するための、手段・処置を実験・実習を通して知識、技能共に理解していくことを目的とする。大項目として、「齲蝕活動試験」「フッ化物応用」「小窩裂溝填塞法」を主軸におく。
授業計画	① 齲蝕予防処置総説
	② 齲蝕活動試験講義・実験
	③ 齲蝕抑制効果の評価およびスクリーニング手法
	④ 齲蝕予防処置アウトライン
	⑤ 齲蝕検出（レーザー実験）
	⑥ 唾液消化作用実験
	⑦ フッ化物溶液（作成・味確認・量）実験
	⑧ フッ化物歯面塗布相互実習
	⑨ フッ化物イオン導入実習
	⑩ フッ化物フォーム相互実習
	⑪ フッ化ジアンミン銀作用実験
	⑫ フッ化ジアンミン銀塗布 相互実習
	⑬ 小窩裂溝填塞相互実習
	⑭ 齲蝕予防処置法の臨床
	⑮ 総括
成績評価	単位試験 実技評価 レポート 授業態度
教科書	「歯科衛生士のための齲蝕予防処置法」医歯薬出版
参考書等	最新歯科衛生士教本「保健生態学」医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「保健情報統計学」
履修上の注意	補填実習はありませんので、各自、体調管理を整えて遅刻・欠席をしないようにしましょう。

專 門 分 野

齒科保健指導論

(7 単位)

2023年度

科目名	歯科保健指導 I
担当教員	今井 恭子
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・前期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士は、個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および前歯の健康管理が維持できるように支援する。本講では健康維持・保健教育の基礎知識と技術を習得する。
授業計画	① 歯科保健指導の概要 ② 口腔清掃用具 ③ 刷掃法の基本 ④ 歯磨剤及び洗口剤、歯垢染色剤 ⑤ 補助清掃用具 ⑥ 補助的清掃用具（デンタルフロス）、ブラッシング方法2 ⑦ O' Learyの評価 ⑧ 対象把握のための情報収集 ⑨ メディカルインタビュー ⑩ 歯・口腔の疾患観察 ⑪ 歯科衛生過程の基礎 ⑫ まとめ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	単位試験、小テスト、出席日数、授業態度により総合的評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論【医歯薬出版】
参考書等	
履修上の注意	積極的・意欲的な授業参加を行うこと。

2023年度

科目名	歯科保健指導Ⅱ
担当教員	今井 恭子
単位（時間数）	2単位（60時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士は、個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および前進の健康管理が維持できるように支援する。本講では1年次に習得した内容を基に、各ライフステージと機能障害に応じた生活指導を行うために専門的知識と技術および態度を習得する。
授業計画	① 対象者別保健指導の理解と歯科衛生介入
	② 行動変容理論 総論
	③ 禁煙指導
	④ 歯科衛生課程2
	⑤ 合同実習
	⑥ 誘致患者実習 計画の立案 事前準備
	⑦ 有病者への口腔衛生管理Ⅰ（脳卒中、心疾患）
	⑧ 有病者への口腔衛生管理Ⅱ（がん、精神疾患）
	⑨ 臨床検査科学生への歯科保健指導
	⑩ まとめ
	⑪
	⑫
	⑬
	⑭
	⑮
成績評価	単位試験、小テスト、出席日数、授業態度により総合的評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション、歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル 医歯薬出版
履修上の注意	積極的・意欲的な授業参加を行うこと。

科目名	歯科保健指導Ⅲ
担当教員	今井 恭子
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	3 年生・前・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科衛生士は、個人・集団に対し、口腔の健康に対する意識を改善することにより生活行動を変容し、個人レベルで口腔および前進の健康管理が維持できるように支援する。本講では1・2年次に習得した内容を基に健康維持・保健教育の知識と技術を習得する。
授業計画	① 地域歯科保健指導について
	② 口腔衛生管理
	③ 口腔機能管理
	④ まとめ
	⑤
	⑥
	⑦
	⑧
成績評価	単位試験、小テスト、出席日数、授業態度により総合的評価
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	よくわかる歯科衛生過程 医歯薬出版
履修上の注意	積極的・意欲的な授業参加を行うこと。

2023年度

科目名	口腔保健管理Ⅰ
担当教員	鈴木 亜紀、定延 渚
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期 講義・実習
授業科目概要	小学校でのブラッシング指導への媒体作成等の準備ならびにリハーサル、他学科学生、誘致患者への実習を通して対象別の歯科保健指導を学ぶ。
授業計画	① 小学校歯科保健指導ガイダンス
	② 小学校歯科保健指導事前準備
	③ 小学校歯科保健指導事前準備
	④ 小学校歯科保健指導事前準備
	⑤ 小学校歯科保健指導事前準備
	⑥ 小学校歯科保健指導事前準備
	⑦ 小学校歯科保健指導事前準備 リハーサル
	⑧ 他学科学生との合同実習
	⑨ 他学科学生との合同実習
	⑩ 誘致患者実習
	⑪ 誘致患者実習
成績評価	各講義（実習）終了後にレポート課題を提出 評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	歯科保健指導の対象者のライフステージに合わせた実習ができるようにする

2023年度

科目名	口腔保健管理Ⅱ
担当教員	鈴木 亜紀
単位（時間数）	1 単位（15時間）
履修対象・形態	3 年生・後期 講義・演習
授業科目概要	3 年生の臨地・臨床実習をとおり、歯科予防処置論、歯科保健指導論、歯科診療補助論の内容を統合し、患者に適した口腔保健管理プログラムを作成し、実践できる能力をみにつける。
授業計画	① 概論
	② 臨地・臨床実習における患者の把握について
	③ 個々の臨地・臨床実習の実習記録から考察
	④ 個々の臨地・臨床実習の実習記録から考察
	⑤ 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成
	⑥ 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成
	⑦ 個々の臨地・臨床実習の実習記録からプログラム作成
	⑧ 個々の口腔保健管理プログラム まとめ
成績評価	作成した口腔保健プログラム提出により評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新 歯科予防処置論・歯科保健指導論、医歯薬出版
参考書等	公益社団法人日本歯科衛生士会監修：歯科保健指導ハンドブック、医歯薬出版
履修上の注意	

2023年度

科目名	栄養指導
担当教員	山下絵美
単位（時間数）	1単位 30時間
履修対象・形態	3年生・講義
授業科目概要	栄養学の基礎知識および健康の維持・増進のために必要な栄養素について理解する。さらに栄養上の問題点等を理解し、歯科衛生士として必要な栄養指導の基本知識を身につける。 また、う蝕や歯周病といった歯科疾患は、食生活ならびに生活習慣に大きく関与している。そのため、ライフステージ別の食生活の特徴を把握するとともに、望ましい食生活の実践ができるよう、基本的な考え方や理論を身につける。
授業計画	① 栄養および食生活の基礎知識 ② 食育について ③ 健康と食生活、歯科疾患と食生活について ④ 国民健康・栄養調査、健康日本21 ⑤ 食生活指針、食事バランスガイド ⑥ 日本人の食事摂取基準 ⑦ 特別な支援が必要な者への食事指導 ⑧ まとめ
成績評価	小テスト（20％）、レポート（30％）、定期試験（50％）の総合評価
教科書	医歯薬出版 最新歯科衛生士教本「人体の構造と機能2 栄養と代謝」 女子栄養大学出版部「食品80キロカロリーガイドブック」
参考書等	女子栄養大学「栄養素の通になる」第4版
履修上の注意	小テストを行う回がありますので、前回の復習をして講義に臨みましょう。 新型コロナウイルスの感染状況によって、内容を変更することがあります。

専 門 分 野

歯科診療補助論

(9 単位)

科目名	歯科診療補助 I
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	2単位（60時間） 必修
履修対象・形態	1年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	① 概論・感染予防対策
	② 消毒・滅菌の実践 各種衛生材料の作製
	③ 共同動作
	④ 主要歯科材料の種類と取り扱い（合着セメント）
	⑤ 主要歯科材料の取り扱い（印象材）
	⑥ 主要歯科材料の取り扱い（歯科用石膏）
	⑦ ラバーダム防湿
	⑧ 歯周包帯
	⑨ 口腔内写真
成績評価	単位試験、実技試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編）医歯薬出版株式会社
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみをしっかりし、教科書等忘れ物をしないこと。

科目名	歯科診療補助Ⅱ
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	1単位（45時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	① 主要歯科材料の取り扱い（印象材）
	② 仮封材
	③ 医療事故・ヒヤリハット・偶発事故
	④ 診療補助の実践
	⑤ 臨床実習前対策
成績評価	単位試験、実技試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編）医歯薬出版株式会社
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみをしっかりし、教科書等忘れ物をしないこと。

科目名	歯科診療補助Ⅲ
担当教員	松下 渚
単位、必修・選択	1単位（45時間） 必修
履修対象・形態	2年次 前期 後期 講義・実習
授業科目概要	歯科診療補助や診療室の管理を行うにあたり、歯科衛生士として必要な基礎知識や器具・材料の名称、使用方法および歯科診療補助における歯科衛生士の役割を理解し、円滑なチーム医療が行えることを目標とする。
授業計画	① 主要歯科材料の取り扱いと管理
	② 歯科診療補助の実践
	③ 症例研究
成績評価	単位試験、実技試験、レポート、授業態度、出席状況等を総合して評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会（編）「歯科診療補助論」医歯薬出版株式会社
参考書等	改訂版イラストと写真で分かる歯科材料の基礎 永末書店
	歯科器械の知識と取り扱い 全国歯科衛生士教育協議会（編）医歯薬出版株式会社
	感染予防対策と滅菌・消毒・洗浄 ICHG研究会（編）医歯薬出版株式会社
履修上の注意	欠席・欠課をしないよう意欲を持って授業に挑むこと。身だしなみをしっかりし、教科書等忘れ物をしないこと。

2023年度

科目名	介護技術
担当教員	小室 八千代
単位（時間数）	1単位（30時間）
履修対象・形態	2年生・前・後期講座・演習
授業科目概要	歯科衛生士の働く現場では、高齢者や障がい者と多く関わることになり、安全に対応するためにも介護技術が必要になります。そこで、基礎介護技術について根拠を示しながら、より安全に実践できるよう解説し、演習をしていきます。また、個人の尊厳を尊重した介護ができるようにしていきます。
授業計画	① 授業オリエンテーション 介護とは何か、介護保険制度について理解 ② 健康状態の把握・・・血圧、脈拍、呼吸測定 教科書P 1 3 3～P 1 4 5 ③ 居室の環境整備・・・ビデオ学習（高齢者住宅の基本的アドバイス） ④ 住宅改修・福祉用具について理解 教科書P 2 0～P 3 4 ⑤ 衣類の着脱介助、褥瘡・廃用性症候群について理解 教科書P 1 2 1～P 1 3 2 ⑥ 視覚障がい者の歩行介助、杖歩行介助（2点・3点歩行）教科書P 6 3～P 6 9 ⑦ 食事介助、喀痰吸引・経管栄養 教科書P 7 0～P 8 6 ⑧ コミュニケーション技術・接遇（ロールプレイ） 教科書P 2～P 1 9 ⑨ 感染予防・・・手洗い、マスク、エプロン、滅菌手袋 ⑩ 清潔の介助・・・口腔ケア、手浴他 教科書P 1 4～P 1 6、P 1 0 9～1 2 0 ⑪ 体位変換 ボディメカニクス 教科書P 3 5～P 5 3 ⑫ 車いすの扱い方、ベッドから車いすの移乗介助 教科書P 5 4～P 6 2 ⑬ 排泄介助・・・排泄用品の紹介 教科書P 9 4～P 1 0 8 ⑭ 認知症の理解 ⑮ まとめ
成績評価	小テスト・授業態度・出席状況 3 0 % 定期試験 7 0 %
教科書	「前川美智子著：根拠からわかる介護技術の基本」 中央法規出版
参考書等	介護保険のパンフレット・・・ 大阪市「ハートページ」
履修上の注意	・授業の前に前回授業の小テストを実施するので復習すること ・実技練習は手際よく交代し必ず体験すること

2023年度

科目名	歯科材料学
担当教員	山口 哲
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生 前期
授業科目概要	欠損した顎口腔組織の形態と機能の回復を目的として、金属材料、高分子材料、セラミック材料、および複合材料が、日常臨床で広く使用されている。そのため、歯科衛生士は、これらの歯科材料について十分な知識と取り扱いの技能を習得する必要がある。本科目では、各種歯科材料の基本的な性質・用途・使用法ならびに保管方法についての知識を学修する。
授業計画	① 歯科材料の基礎知識
	② 印象材
	③ 模型用材料・ワックス
	④ 合着材・接着材
	⑤ 成形修復材
	⑥ 仮封材・暫間修復材と仮着用セメント
	⑦ 金属・セラミックス
	⑧ その他の歯科材料
成績評価	筆記試験
教科書	「歯科材料」，第1版第1刷 監修 一般社団法人 全国歯科衛生士教育協議会，医歯薬出版株式会社
参考書等	「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」，第3版， 監著 竹澤保政，編集 渡辺美里，永末書店
履修上の注意	次回の授業範囲を予習し、専門用語等の意味を理解しておくこと。

科目名	臨床検査法
担当教員	秦野 満喜子
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	1年生・後期 講義・演習
授業科目概要	歯科診療は単に一口腔単位の診療ではなく、全身管理あるいは全身への影響という観点に留意しながら診療する必要性がある。チーム医療の一員にもなっている。そのための補助となるのが臨床検査であり、医療事故を未然に防ぎ、安全な診療を行う為にも臨床検査は重要な分野である。本講義では臨床検査の種類、目的、検査法の実際、検査結果をどのように解釈するかなどをスライドやプリントも加えて解説し、最後には実習を通じて基礎的な検査手技を学習する。
授業計画	① 臨床検査とは（生理検査、検体検査）
	② 結果の表し方、バイタルサイン
	③ 生理機能検査 心電図、脳波、呼吸機能
	④ 生理機能検査 画像検査（超音波、CT、MRIなど）
	⑤ 採血法 血液学的検査法
	⑥ 生化学検査 肝機能 腎機能
	⑦ 免疫学的検査
	⑧ 血液型検査
	⑨ 尿検査 試験紙法 採尿法
	⑩ 微生物検査 塗末 培養
	⑪ 実習 血液型（オモテ試験、ウラ試験）
	⑫ 実習 ヘマトクリット、出血時間
	⑬ 実習結果について
	⑭ 疾病と検査
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：新歯科衛生士教本 臨床検査、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

科目名	歯科放射線学
担当教員	木原 卓司
単位（時間数）	1 単位（30時間）
履修対象・形態	2 年生・後期 講義・実習
授業科目概要	エックス線が人間の五感に感じないことから、歯科エックス線診療の現場では、必要以上に怖がったり、逆に大胆になりすぎたりと、少なからず混乱を生じている。そこで、エックス線についての正しい知識を身に付け、患者に不安を与えないよう適切に行動できるようにする、ということを目指として、医学におけるエックス線の有用性とその利用の現況を解説するとともに、エックス線の人体への影響の発生の危険性とその防護法について解説する。
授業計画	① ビデオによる導入 ② X線の発生 一般的性質 減弱 ③ X線装置 撮影法 （口内法、口外法） ④ X線 フィルム ⑤ 写真処理（現像） ⑥ 正常像 撮影部位の判別 ⑦ 病的像Ⅰ（読影） 根尖病巣の診断 ⑧ 病的像Ⅱ 放射線障害Ⅰ ⑨ 放射線障害Ⅱ ⑩ 放射線防護 ⑪ 口内撮影相互実習 ⑫ 口内撮影相互実習 ⑬ 口内撮影相互実習 ⑭ 口内撮影相互実習 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯科放射線、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	看護・救急蘇生法	
担当教員	中川 明子	
単位（時間数）	1 単位（15時間）	
履修対象・形態	3年生・前期 講義・演習	
授業科目概要	超高齢化社会に伴い、医療の現場において治療中やその前後に医療事故がおこる危険性が増加します。この講義では、救命救急処置の基本を学びます	
授業計画	①	全身状態の評価と患者の管理 ① (全身的偶発症・ショック・酸素療法・血管確保について)
	②	
	③	全身状態の評価と患者の管理 ② (全身的偶発症・ショック・酸素療法・血管確保について)
	④	
	⑤	吸引法①
	⑥	(口腔内・気管内・鼻腔吸引の適応・留意点・手順)
	⑦	吸引法②
	⑧	(口腔内・気管内・鼻腔吸引の適応・留意点・手順)
	⑨	
	⑩	救急蘇生法① (DVD鑑賞・BLS演習)
	⑪	
	⑫	救急蘇生法② (DVD鑑賞・BLS演習)
	⑬	
	⑭	救急蘇生法③ (DVD鑑賞・BLS演習)
	⑮	終講試験
成績評価	教科書：最新歯科衛生士教本 顎・口腔粘膜疾患 口腔外科・歯科麻酔	
教科書	参考書：資料を作成して配布します。	
参考書等		
履修上の注意		

専 門 分 野

臨地・臨床実習

(20単位)

2023年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅰ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	1 単位（45時間）
履修対象・形態	1年生 2023年11月6日～11月10日 2023年6月2日～8日
実習概要	歯科衛生士業務と歯科診療の流れを理解し、将来目指す歯科衛生士職の動機づけを目的とする。また、集団指導を2年生と合同実習により体験する。
実習計画	・ 歯科診療所
	・ 病院 歯科口腔外科
	・ 小学校
成績評価	臨地・臨床実習終了後 実習課題を提出 評価する
教科書	
参考書等	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
履修上の注意	全出席を基本とします。コロナ感染状況によっては臨地実習（小学校）できない場合があります

2023年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅱ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	7 単位（315時間）
履修対象・形態	2 年生・2023年11月13日～2024年2月9日
実習概要	2年次の臨床実習は、学内で習得した基礎的な知識や技術を理論的に整理し、歯科医療現場ならびに福祉施設において理解を深める。また、歯科診療補助、歯科保健指導、歯科予防処置の理解を体系的に深める。さらに、総合病院（病棟）では歯科衛生士が実施する口腔ケアの見学実習を体験し、全身管理の知識と技術を学ぶ。
実習計画	・ 歯科診療所・病院 歯科口腔外科
	・ 高齢者福祉施設
	・ 障害者歯科
成績評価	臨地・臨床実習終了後 総合評価
教科書	
参考書等	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
履修上の注意	全出席を基本とします

2023年度

科目名	臨地・臨床実習Ⅲ
実習施設	本校指定の実習施設
単位（時間数）	12単位（540時間）
履修対象・形態	3年生・2023年6月5日～7月7日、9月1日～9月29日、10月2日～11月2日
実習概要	3年生の臨床実習は、2年生の臨床実習で習得した知識や技術をより向上させることを目的にする。また、保健センターでの臨地実習では1.6歳児、3歳児の健診をとおして地域歯科保健の現場を体験し知識と技術を習得する。
実習計画	・ 歯科診療所・病院 歯科口腔外科
	・ 保健センター
成績評価	臨地・臨床実習終了後 総合評価
教科書	松井恭平ほか編：歯科衛生士のための歯科臨床概論、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とします

選 択 必 修 分 野

(8 単位)

2023年度

科目名	歯周基本治療学
担当教員	松本 利一
単位（時間数）	2単位（30時間）
履修対象・形態	3年生・前・後期 講義
授業科目概要	歯周病は口腔領域における2大疾患の一つと称されている。高齢化社会に伴い歯周治療の重要性が高まってきている。その従事者である歯科衛生士にとって歯周病学は大変重要な学問の一つである。本講義では歯周治療の基礎知識や歯周治療の実際、歯周治療における歯科衛生士の業務を学ぶ。
授業計画	① 歯周治療とは ② 歯周組織の正常像について ③ 歯周病の分類 ④ 歯肉炎と歯周炎 ⑤ 歯周病の病因 ⑥ 原因菌 バイオフィルム ⑦ 歯周病の診査、診断 ⑧ 疫学、指数について ⑨ 歯周病の病態 ⑩ 歯周基本治療 ⑪ 歯周外科 ⑫ インプラント治療 ⑬ メインテナンス ⑭ 歯科衛生士の役割 ⑮ まとめ
成績評価	単位試験
教科書	全国歯科衛生士教育協議会編：最新歯科衛生士教本 歯周病学、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	隣接医学
担当教員	大谷 朋弘、芳本 雅基
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義
授業科目概要	高齢化にともない、生活習慣や基礎疾患を有する患者が急増している。歯科衛生士として必要な医学的知識について学ぶ
授業計画	① 全身と口の関わり
	② 診査 診断
	③ 耳鼻咽喉科疾患について
	④ 呼吸器疾患について
	⑤ 血液疾患について
	⑥ 循環器疾患について
	⑦ 救急蘇生・バイタルサイン・歯科に必要な検査について
	⑧ 救急蘇生・バイタルサインについて
成績評価	単位試験
教科書	まとめ資料を配布（③～⑧について）
参考書等	
履修上の注意	

科目名	摂食嚥下療法
担当教員	濱田 理愛
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・後期 講義
授業科目概要	口腔には食べる機能をはじめ味覚、呼吸、構音など、多くの機能があり、傷病や障害、あるいは加齢による口腔機能の低下を予防するうえで、口腔機能の療法は重要となっている。歯科衛生士もチーム医療の一員として目的と情報を共有し、歯科衛生士の専門性を高める必要がある。本講義では摂食嚥下療法の関する基礎知識について学ぶ。
授業計画	① 摂食嚥下のメカニズム
	② 摂食嚥下障害とは
	③ 嚥下の検査について（スクリーニング検査、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査）
	④ 口腔ケアについて
	⑤ 摂食嚥下リハビリテーションについて（間接訓練、直接訓練、食事支援）
	⑥ 誤嚥時の対応について
	⑦ 代替栄養について
	⑧ チームアプローチについて
成績評価	単位試験
教科書	最新歯科衛生士教本 高齢者歯科第2版 医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	

科目名	リハビリテーション学
担当教員	栗田 剛寧
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生・前期 講義・実習
授業科目概要	リハビリテーションの立場から医療、介護、保健の各領域で多職種が協力する状況が今後ますます増加し、その背景には多様な疾患や生活スタイルが増加しているからである。多様な疾患に対して歯科衛生の領域での実地的なかわりとしては、歯科受診の車いす対応、各種の杖への対応などがある。またあらゆる疾患の知識を習得することで、多様な対象者への対応が可能となる。さらに、職業人として自身の体調管理についてのセルフコンディショニングの方法を学ぶ。
授業計画	① 医療制度の中のリハビリテーションの意義
	② チーム医療の必要性
	③ 脳卒中のリハビリテーション
	④ メタボリックシンドロームについて
	⑤ 職業性腰痛症、頸肩腕症候群について
	⑥ 骨粗鬆症について
	⑦ 車いす、杖歩行介助の実習
	⑧ セルフストレッチングの実習
成績評価	授業への取り組みと終講試験により評価する
教科書	特に指定しない（資料配布予定）
参考書等	講義内で適宜紹介する
履修上の注意	実習時にはふさわしい服装で参加すること

科目名	東洋医療
担当教員	西口 陽通
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	3年生・前期 講義・演習
授業科目概要	東洋療法（主に手技療法）の基礎理論と演習を通じて認識を深める。
授業計画	① 東洋医学の「病」と「気」と「痛み」について
	② 昔話にみる東洋療法 因幡の白ウサギ・かぐや姫・桃太郎・一寸法師
	③ 肩こり腰痛は昔からあった「あんまマッサージ指圧（あま指）」について
	④ 東洋医学的な健康管理 養生訓 陰陽五行理論
	⑤ ツボについて気の流れ、十二経路、経穴とは？
	⑥ 「あま指」体験
	⑦ まとめ（関連学説）確認
成績評価	提出物 及び 試験
教科書	プリント配布
参考書等	
履修上の注意	

2023年度

科目名	接遇・面接技法論
担当教員	大西 美代子
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	2年生 後期
授業科目概要	社会人として良好なコミュニケーションが取れ、印象よく人前で話することができること、また、就職活動中、面接で印象よく動き、話せることを目標とする。そのために必要な姿勢・態度・敬語を中心とした話し方の基本や重要性を知り、表現できるよう、練習・実践していく。
授業計画	① マナーとは その必要性 基本姿勢とお辞儀
	② コミュニケーション能力について 挨拶の重要性 他己紹介
	③ 好感の持てる話し方 敬語の必要性和種類
	④ 敬語の基本 人前で話すロールプレイング
	⑤ 敬語の使い分け 話し方練習
	⑥ 面接の流れと留意点 動きの確認 ロールプレイング
	⑦ 面接実践練習（試験形式）
	⑧ 敬語の応用 ケーススタディ
	⑨ 単位試験
成績評価	授業の取り組み姿勢やロールプレイングと筆記試験
教科書	オリジナル資料
参考書等	必要に応じて配付
履修上の注意	基本的に座学 毎時間、各自が知識を習得し、それを使って考えて解答、または行動することで、実践に活かせるように心がけてほしい。

科目名	総合演習
担当教員	田中 亜紀
単位（時間数）	1 単位（15 時間）
履修対象・形態	3 年生 後期 講義・演習
授業科目概要	国家試験に向けての全科目対応した講義・演習を実施する。
授業計画	① 人体と構造と機能
	② 歯・口腔の構造と機能
	③ 疾病の成り立ちと回復の促進
	④ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
	⑤ 臨床歯科医学
	⑥ 歯科予防処置論
	⑦ 歯科保健指導論
	⑧ 歯科診療補助論
成績評価	単位試験
教科書	資料配布
参考書等	
履修上の注意	全出席を基本とする

科目名	情報処理	
担当教員	内宮 慶之	
単位（時間数）	1単位（21時間）	
履修対象・形態	1年生	
授業科目概要	パソコンを使用した医療事務に役立つスキルの習得を目的とする。 Microsoft Word/Excel/PowerPointの具体的な操作方法を習得し、基礎的な知識と操作方法を習得する。 また各自プレゼンテーション資料を作成し、PowerPointを使用したプレゼンテーションも実施する。	
授業計画	①	Lesson 1・2 コンピューター概論 文字入力とファイルの管理等
	②	Lesson 3 基本的な文書の作成
	③	Lesson 4・5 ビジネス文書の作成 表の作成
	④	Lesson 6 図形とイラストの挿入
	⑤	Lesson 7・8 集計表の作成 関数を使った表計算1
	⑥	Lesson 9 関数を使った表計算2
	⑦	Lesson 10・11 統計処理 データとグラフ
	⑧	Lesson 12 データの活用
	⑨	Lesson 13～15 プレゼンテーションの作成とデザイン 情報セキュリティとモラル
	⑩	プレゼンテーションスライドの作成
	⑪	プレゼンテーションスライドの作成
	⑫	プレゼンテーション
	⑬	課題作成とまとめ
	⑭	総合演習と試験予習
	⑮	試験
成績評価	課題の提出及び試験	
教科書	『医療従事者のための情報リテラシー』第2版 日経BP社	
参考書等	授業時間内に適宜支持する	
履修上の注意	PC初心者にも対応する授業となるため、個々人の作業時間の差を考慮し、私語等が無いよう十分注意すること。なお、4 Gバイト以上のUSBメモリを持参すること。	

2023年度

科目名	倫理学
担当教員	吉田 真一郎
単位（時間数）	1単位（15時間）
履修対象・形態	1年生・講義
授業科目概要	倫理学（歯科医療倫理）は言葉の意味を理解するだけでなく、対人間、患者さんに実践できることが大切である。コミュニケーションの基礎を学び、実践できるようにしていくことを目標とする。今後歯科衛生士になるにあたり、必要な基礎知識の習得ならびに、医療人としての考え方について双方向の講義を目指し、グループワークやカウンセリング実習をとおして、コミュニケーションスキルの習得も目指す。
授業計画	① なぜ倫理学を学ぶのか ② インフォームドコンセント、コミュニケーション ③ 口腔がんの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ④ 親しらずの治療を例にインフォームドコンセント、セカンドオピニオンについて ⑤ 歯科衛生士のやりがい ⑥ コミュニケーションの大切さ ⑦ 守秘義務について ⑧ 国試対策 ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮
成績評価	課題、単位試験より評価する
教科書	全国歯科衛生士教育協議会監修：最新 歯科衛生士教本 歯科医療倫理 第2版、医歯薬出版
参考書等	
履修上の注意	率直、前向き、勉強好きの3点を意識し、学ぶ事を楽しもうとすること